

【件名】

名勝哲学堂公園の再整備に係る進捗状況について

【要旨】

令和2年度に国名勝に指定された哲学堂公園の再整備について、以下のとおり進捗状況を報告する。

1 検討委員会等の開催状況

国名勝としての歴史的、文化的価値を考慮した再整備を行うため、名勝哲学堂公園整備検討委員会（以下「検討委員会」という。）及び名勝哲学堂公園古建築物修復検討小委員会（以下「小委員会」という。）を設置し、学識経験者等の指導や助言のもと、検討を進めている。

(1) 構成員

- ・学識経験者（検討委員会4名、小委員会3名）
 - ・区職員（文化振興・多文化共生推進課、スポーツ振興課、公園課）
- ※オブザーバーとして、文化庁、東京都教育庁、哲学堂公園指定管理者が参加

(2) 令和7年度の開催経過

① 検討委員会

- ・第1回 令和7年 9月 8日（討議）
- ・第2回 令和7年11月11日（現地視察及び討議）

② 小委員会

- ・第1回 令和7年10月 1日（現地視察及び討議）
- ・第2回 令和8年 1月 9日（討議）

2 住民への周知及び意見聴取等

(1) 園内再整備基本設計及び管理棟再整備に関する住民説明会

- ・令和7年3月5日、9日（計25名の参加）

(2) 斜面地の植生管理に関するオープンハウス

- ・令和7年12月19日、20日（計19名の参加）

(3) 再整備事業掲示板による周知

管理棟前に事業掲示板を設置し、各種お知らせや進捗等を掲出している。

3 各取組の進捗状況

(1) 園内再整備

令和6年度、園内全体の基本設計をとりまとめた。これに基づき、現在、第1期工区（斜面地・妙正寺川周辺）の実施設計を進めている。

なお、斜面地の植生については、段階的・長期的に改善を図るべく、再整備後の管理方針についても検討を行っている。

(2) 埋蔵文化財調査

哲学堂公園が国名勝指定地かつ埋蔵文化財の包蔵地であることから、管理棟周辺及び第1期工区（斜面地・妙正寺川周辺）における確認調査を実施した。

第1期工区については、平成初期の整備の際に地表面が攪乱されており、今回の再整備における影響は軽微であると判断された。

なお、管理棟周辺については、哲学堂七十七場の1つである鑽仰軒（門を監守する建物であったとされる）の存在が推定されている。今回の調査で、鑽仰軒に関する遺構は検出されなかったが、縄文時代及び近世の遺構・遺物が確認された。今後、建物を解体する際には、その直下において再度調査を行う必要がある。

(3) 古建築物等修復

① 常識門

令和6年度にとりまとめた実施設計に基づき、修復工事を行っている。

② 六賢台

耐震診断調査及び基本設計等を行っている。

③ 石積（独断峡・造化爛・心理崖）

令和6年度に実施した予備診断・基礎診断の結果に基づき、専門診断及び基本設計を進めている。



検討委員会による常識門の視察



六賢台の調査状況

4 今後のスケジュール（予定）

令和8年1月30日 第3回検討委員会

3月 第3回小委員会

令和8年度 第1期工区の再整備工事（～令和9年度を予定）

サクラの再生整備（工法検討・樹勢回復等）

管理棟の建築プラン検討等

仮設管理棟の賃貸借（調査・設計等）

石積（独断峡・造化爛・心理崖）の修復実施設計

六賢台の修復実施設計

鬮體庵及び接神室・靈明閣の耐震診断調査・修復基本設計

※以降、名勝哲学堂公園再整備基本計画の事業スケジュールに沿って進行する。

<各取組の概要>

※検討委員会における協議・調整により、今後変更となる場合があります。

●さくらの広場周辺 整備イメージ (第3期工区)



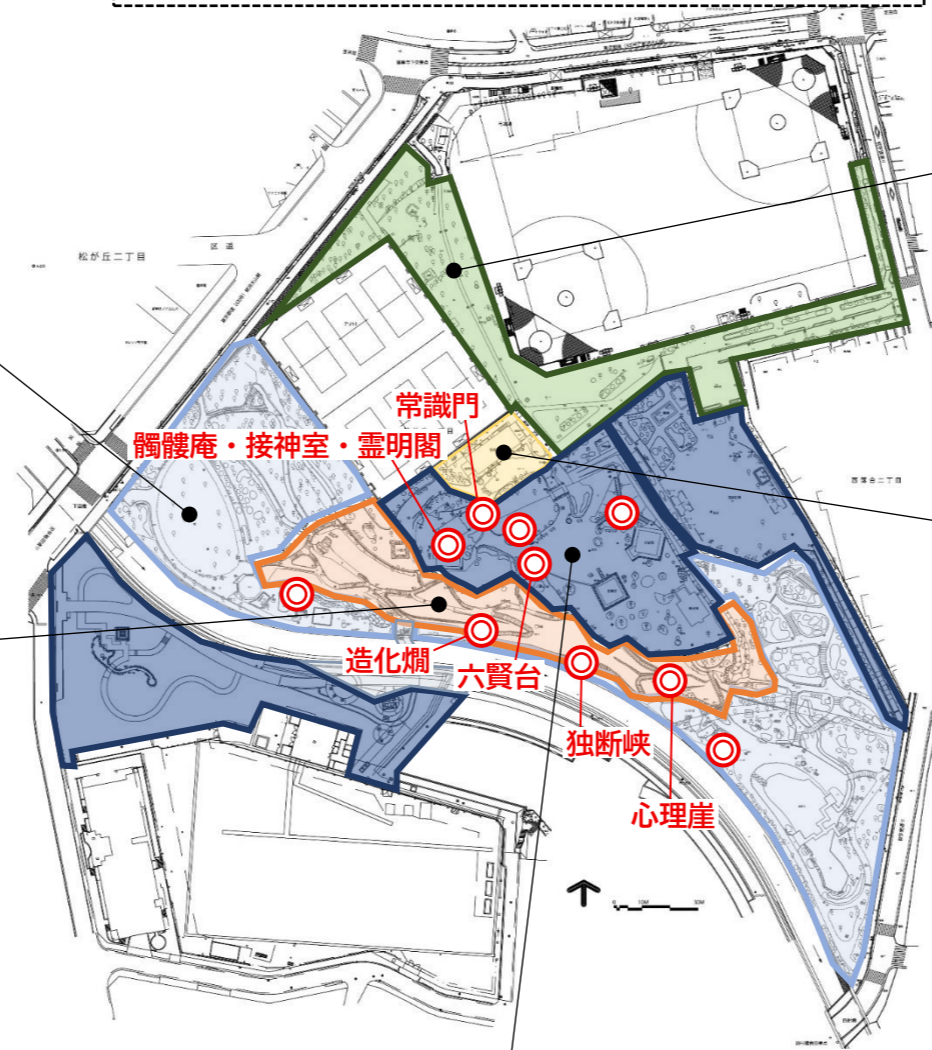
サクラの再生、草地の形成、園路の改修等

●斜面地周辺 整備イメージ (第1期工区)



柵・手すり・誘導板等の改修、園路の更新、植生改善等

- 第1期工区 (斜面地・妙正寺川周辺)
- 第2期工区 (時空岡・児童遊園・梅林周辺)
- 第3期工区 (さくらの広場・菖蒲池等周辺)
- 第4期工区 (運動施設周辺)
- 修復を行う古建築物等



●運動施設周辺 整備イメージ (第4期工区)



サクラの再生、草地の形成、園路の改修等

●管理棟周辺 整備イメージ



建物の再整備と併せた広場・解説板等の改修

●時空岡周辺 整備イメージ (第2期工区)



広場の更新、解説板・階段等の改修、植生改善等

<事業全体スケジュール（名勝哲学堂公園再整備基本計画より）>

※検討委員会における協議・調整等により、各スケジュールは今後変更となる場合があります。

設計
 試掘調査
 工事等

